

湘南フォーラム



地域を中心とした  
福祉政策の充実

府川 正明 議員

駐車場有料化

問 総合公園と馬入ふれあい公園の駐車場有料化個別計画におけるパブリックコメントを実施した。理解を示す意見は若干あったが、料金の値下げや入庫後の無料時間の延長、施設利用者への減免を求める意見が多かった。平成28年度には施設利用料の値上げの議論があった。スポーツ関係者が実費で指導や協力をしている実態もある。今後どのような考えで取り組むのか。

答 流が希薄となる中で、誰もが安心して生活できるために市民と行政との協働により町内福祉事業を進めていく。地域介護予防活動支援事業の活動状況を伺う。  
市長 全ての町内福祉村で地域の人が気軽に立ち寄れる通いの場(サロン)が開かれ、活発な交流が行われている。

問 訪問型サービスBの活動状況を伺う。  
市長 地域包括支援センターが作成するケアプランに基づきサービスを提供している。今年度からは、更に利用しやすくなるよう、要件を緩和した。

問 生活支援体制整備事業の活動状況を伺う。  
市長 多くの町内福祉村に介護保険法における協議体を担ってもらっている。介護予防や生活支援に関する課題を共有し、解決に向けて議論を深めている。それを受け、生活支援コーディネーターが、生活支援の担い手養成やサービスの資源開発など、地域の課題解決に当たっている。

問 町内福祉村の中には、自治会などとうまく連携しているところがある。一方で、責任者の考えで地域との関わりを持たないところもあるが、どのように指導していくのか。

議場見学にどうぞ

本会議場などの議会施設を見学してみませんか。見学には事前に議会局へお申し込みが必要です。議会開催期間などを除く開庁日に見学できます。

問 2020年に開催される湘南ひらつか七夕まつりは、第70回という節目の記念すべき祭りとなる。開催日数やイベントなどを含めて、従来以上の祭りにすべきではないか。  
産業振興部長 記念開催を盛り上げていくことは大事なことである。どのようなことができるのか、若い人たちの意見などを含めてしっかりと研究したい。

問 今度の3日間より1日も多く開催できないか。  
産業振興部長 オリピックの開催時期と重なるため、警察の警備応援がどこまでできるのか課題がある。どのくらいの日数の対応が可能か協議していく。第70回記念のイベント

問 市長の訪問団として4人では少ないと思うが、今回の目的を果たせるのか。  
市長 強行日程であるが、リトアニア共和国の都市やオリンピック委員会、各種団体などを訪問し、本市をアピールして交流の基礎を築いていきたい。

問 今後、交流事業の主体は、市と実行委員会のどちらが担当なのか。  
企画政策部長 事前キャンプやホストタウン、ボランティアに関するなどを実行委員会が主体的に担う。それを支える事務局として、本市のオリンピック・パラリンピック推進課がある。

問 実行委員会への委託料を含め、オリンピック関連や交流のための予算をしっかりと確保できるか。  
市長 ホストタウンとして実働的に動けるよう、事前キャンプに向けて必要な分を確保し、議会に示してい



湘南フォーラム 所属議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。常任委員会の主な質疑を紹介します。

教育民生

議案2案件はいずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。  
○議案第69号 平成29年度平塚市一般会計補正予算  
問 地区公民館管理運営事業では、給水ポンプや自動ドア等設備修繕のため830万円を計上している。具体的な内容と修繕すべき事柄があってから対応に至るまでの経緯、対応の在り方を伺う。  
答 旭南公民館の給水ポンプやバ

スケットゴールと、大神公民館の電気設備や雨水配管で移設する必要があるものなどを修繕する。修繕までの対応について、予算の関係もあるので、すぐに対応できるものは、職員や管理人が消耗品などで応急的な処置をする。長期にわたるものは、緊急性や安全性から判断して、順次対応している。  
○議案第73号 平成29年度平塚市一般会計補正予算  
問 崇善公民館等賃借料について、リース方式の方が早期に整備できるというが、理由を伺う。

答 直接工事では基本設計、実施設計に2年、建築に2年かかることが通常である。リース方式では設計から施工が一括でできることから、早期の建築ができる。  
問 公民館は避難先でもあり、重要な施設でもある。災害への備えを検討したのか。  
答 津波などがあつた場合には屋上に登れるよう塔屋を設け、避難できるようにしたいと考えている。また、調理室のガス器具は、プロパンガスに切り替えられるものも設置する予定である。

都市建設

議案3案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。  
○議案第69号 平成29年度平塚市一般会計補正予算  
問 地震・津波防災対策事業の地震ブレイカー購入費について、当初予算では県補助金として67万2千円の補助があつたが、今回はどのような状況か。  
答 県に相談したところ厳しい状況であると回答があつたため補正分の申請はしていない。

地域包括支援センター

問 28年10月時点で地域包括支援センターは10か所設置され、29年4月に3か所が開設された。専門職を配置し、介護予防ケアマネジメント事業や総合相談支援事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント事業、介護予防支援業務などに幅広く取り組んでいる。本市は地域包括支援センターに、自治会や社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会、町内福祉村、公民館などが一体となった協議体としての取り組みを依頼している。今後の指導することは難しい。

問 ロー体制を伺う。  
市長 協議体の運営については、地域の各種団体の負担を軽減するために、市が地域包括支援センターに委託し、話し合いが円滑に進むよう支援している。地域包括支援センターに対しては、協議体の課題の把握や解決に向け、研修や情報共有、集団指導などを行っている。また、懸案事項を協議するため、個別にヒアリングの機会を設けている。

問 港地区においても協議体が発足した。各団体が持っている課題を集め、一つ一つ解決していくことが協議体の目的である。しかし、地域では苦慮している実態がある。今後どのようなフォローしていくのか。  
福祉部長 各団体が持っている情報を把握し、協議体の中で課題を見つけ、解決の方向性を定めていく。それをコーディネートチームが、フォローしていく形が良いと考えている。  
▼このほかの質問 新港の活用 平塚市水産物地方卸売市場 漁業の活性化



リトアニア共和国の都市と国際姉妹都市締結を

小泉 春雄 議員

第70回七夕まつり

問 2020年に開催される湘南ひらつか七夕まつりは、第70回という節目の記念すべき祭りとなる。開催日数やイベントなどを含めて、従来以上の祭りにすべきではないか。  
産業振興部長 記念開催を盛り上げていくことは大事なことである。どのようなことができるのか、若い人たちの意見などを含めてしっかりと研究したい。

リトアニアとの交流

問 市長の訪問は、オリンピックに関連した訪問のみならず、姉妹都市締結に向けた大きなステップであると考えているが、決意を伺う。  
企画政策部長 姉妹都市締結は、将来にわたり交流を進めていく中で重要な要素である。さまざまな交流を積み重ねて市民の機運の醸成に取り組み、可能性を判断していく。

問 市長の訪問団として4人では少ないと思うが、今回の目的を果たせるのか。  
市長 強行日程であるが、リトアニア共和国の都市やオリンピック委員会、各種団体などを訪問し、本市をアピールして交流の基礎を築いていきたい。

問 今後、交流事業の主体は、市と実行委員会のどちらが担当なのか。  
企画政策部長 事前キャンプやホストタウン、ボランティアに関するなどを実行委員会が主体的に担う。それを支える事務局として、本市のオリンピック・パラリンピック推進課がある。

問 実行委員会への委託料を含め、オリンピック関連や交流のための予算をしっかりと確保できるか。  
市長 ホストタウンとして実働的に動けるよう、事前キャンプに向けて必要な分を確保し、議会に示してい